

インフルエンザには  
ご注意くださいワン!!



# 工房だより



大地からの恵みいっぱい  
ドッグフード  
工房

2019年02月号

～ ペットののための自然食キッチンから～

vol. 9



今月の一枚  
巴ちゃん 十三才

(縄文柴犬)



Say cheese!



今年十四才になる巴ちゃん・・・プライドが高く他の犬を寄せ付けないところがあるようですが、愛する夫犬の弁之介には、心を許しており、左写真のように二匹がそっと寄り添っている姿をよく見かけていたそうです。



ワンちゃんのお写真募集中!  
メールにて一言添えてお送りください。採用された場合には心ばかりのお礼をお送りします。

info@petfood-kitchen.co.jp

## ご挨拶



寒さの中にも、かすかな春の息吹が感じられるようになりました。

いつもドッグフード工房をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

商品に同封させて頂いております

「お客様の声をお聞かせください」の八ガキにてお声を頂戴し、誠にありがとうございます。全て読ませて頂いております。

「大興奮して食べた」

「毛並みがよくなった」

とのお声を頂くと大変うれしく、また、お客様のご期待に応えるべく、全安心の商品を提供していかねばならないという思いを一層強く感じています。

商品について、お気づきの点・ご意見・ご感想などがございましたら、商品と同封のはがきで是非お寄せください。自然素材にこだわったドッグフードでワンちゃんの健康に貢献したいと考えております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

工房代表 佐野裕志

## こだわりの原材料シリーズ ドッグフード工房の小麦粉

ドッグフード工房において、小麦はお米に続く大切なエネルギー源であり、ビタミン・ミネラルも豊富な栄養価の高い食材です。ドッグフード工房では、北海道産の国産小麦100%を使用しております。

小麦は、人用ではパンやうどんの原材料として使われていますが、ワンちゃん用でもペットフードやおやつなど、多岐にわたる商品に幅広く使用されています。ワンちゃんの栄養源として有益な原材料であると言えます。

ドッグフード工房では、小麦にもこだわり人用として使用されている北海道産の良質な小麦粉を使用しております。



北海道の大自然に大切に育てられた小麦。  
希少な国産小麦 100%

## おやつとの与え方



ワンちゃん達はみんなおやつが大好き。だからついついおやつを与えすぎちゃうなんてことも。

おやつはあくまで嗜好品ですので、栄養バランスが取れていません。

おやつは一日の必要な栄養量の20%以内に抑えるべきだといわれています。あげすぎるとフードを食べなくなり、栄養バランスを崩す原因になることもあります。

また、おやつをあげるタイミングも大切です。しつけやトレーニングのご褒美としておやつを与えるのは、よいタイミングです。

しかし、おやつを見せてしつけやトレーニングをしていると、おやつがないと行動しなくなります。おやつが見えないようにしてトレーニングを行い、犬が指示に従い行動を起こしたら、すぐにおやつを与えてください。

1秒以内に与えるのがポイントだそうです。おやつを正しく使えば「こんな行動をしたら嬉しいことがあった」と犬のモチベーションが上がり、良い行動をすることが喜びとなつていきます。

なお、ご褒美は、与えすぎないようにおやつを小さく切るなどの工夫も必要です。



## 八王子の歴史 名前の由来(上)

「八王子」という地名は、全国に分布しています。それは、牛頭天王(ごずてんのう)と8人の王子(八王子)をまつる信仰の広がりの中で、八王子神社や八王子権現社(ごんげんしゃ)が建立され、地域の信仰を集め始めるとともに、地名として定着していったといわれています。

もちろん、私たちの会社のある八王子の起源も、ここにあります。八王子城にある八王子神社がその由来とされています。



八王子城跡は159ヘクタールにも及ぶ広大な山城



八王子城跡にある八王子神社



八王子神社の由緒については、宗関寺(そうかんじ)(元八王子町)に伝わる古記録(こきろく)に記されています。平安時代に京都から訪れた妙行という学僧が、深沢山(後の八王子城)山頂の岩屋で修行をはじめ、夜がふけると、強風が吹き、雷鳴がひびき、いろいろな妖怪や大蛇が現れて修行の邪魔をするが、まったく動じなかつたそうです。

夜が明けると、8人の童子(どうじ)を伴った神が現れ、「私に属する神々や弟子たちは、あなたの徳に感服しました。願わくば、この地にとどまってください。私は、あなたの神護(じんご)の法にしたがいまします」と告げたそうです。妙行が名前を問うと「私は牛頭天王(ごずてんのう)で伴っているのは八王子です」と答え、姿を消したといわれています。